

令和
8
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～



愛知教育文化振興会
三河教育研究会

3	年		組	名前	
---	---	--	---	----	--



原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

「ただし
から書き出すとき
は一マスあけない

話しことば・会話は
行をかえる

話しことば・会話
二行目は一マス

会話文の次の行から
新しく文が始まると
きは一マス下げる

話の内容が変わるときも一マス下げる

書き直すときの記号

┐		{
行をかえる	とる	つけくわえる
	書きかえる	

—マスあける

「マ」

。とは
同じマスに
書く

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

さいごの一マスあける

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和8年度版 作文 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会
刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地
電話 0564-51-4819
印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

「わたし」の^{せつ}説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

- ☆書くじゅんぎょ
- ① つたえたいことを書き出す。
 - ② 中心を決めて、文章の組み立てを考える。
 - ③ 文章を書く。
 - ④ 文章を読み合う。

作文の友

～書くこと 大すき～

3



もくじ

- | | |
|---|-----------------------------------|
| ① | 「わたし」の ^{せつ} 説明文を書こう …… 2 |
| ② | 心が動いたことを詩で表そう …… 6 |
| ③ | 道具のひみつをつたえよう …… 13 |
| ④ | 本から発見したことをつたえ合おう …… 18 |
- 読書感想文を書きましよう
- クラスの思い出作りのために …… 28
- 考える理由を明らかにして書きましよう

一 つたえたいことを書き出そう。

クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、嫌いなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけること
- ④ ①、② つたわる出来事

わたし

二 つたえたいこと、中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことの中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
クラスへのよびかけ		つたえたいこと、中心

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

三は後ろの35〜36ページを使いましょう。

四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合いましょう。



友だちの名前

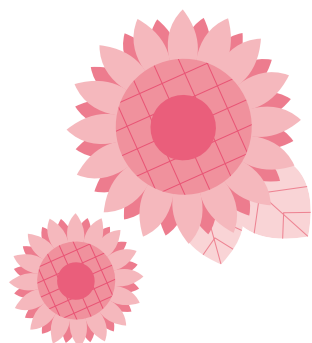
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

友だちの名前

おもしろいと思ったところ・気づいたところ

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがつたわるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2022年度版

見なれ、るもの、聞き
てい、でも、見たり、耳
をす、て聞、りし、ると、
「つ」と、あります。
詩、心、く感じたことを短
い言葉で表したものです。

あなたの目、耳、鼻、口、手をよ
くはたらかせて、そのときの心の動
きを、どんな言葉で表したらよいか
考えてみましょう。

一 詩を読む。

ぼくのごまつぶ

刈谷・住吉小

花岡 圭悟

ごまつぶとの出会いは
つゆまったただ中の 用水路

ちよろちよろ ぐにや
小さい体で一生けん命動
近づきじいっと見てみる
小さなごまつぶから
ちよろんと出ていた 小
あ おたまじゃくし！
ぴくぴくゆれて ひらひら
この小 があのか になる
小さなごまつぶ
いてもたっても
お父さんに相談した
「かってもいい？」

考えこお父さん
どきどき どきどき
返事をじっと待つ

「かえるになったらしぜんに返すと
やくそくできる？」

「うん！ ぜったいやくそくする。」
今日のお父さんは太っぱらだ

いそいで地面にはいつくばって
ひっしに手をのばし
持ってきたコップを水路にしずめた
やった！ 四ひき入ったぞ
「これからぼくがお父さんだぞ。」
四つのいのちをそうとだいた

ごまつぶたちのお世話はいへん
水だと
生まれこきよ

用水路の水草しかよろこんで食べないし
おまけに食べかすがいっぱい出るんだ
少しも目がはなせないけど
四ひきのせい長がうれしくって
たくさんたくさんかわいがった
ある日いちばん大きなどっすんぽこに
何やら黒いもの
小さな後ろ足だった
やっぱりこの子のかえるの子だったんだ
体に合わない小さな小さな黒い足
いつか上りくでけるように
大きな石を用意した

二週間後

あっという間にごまつぶは
前足も生え しっぽもなくなり
もうだれが見たってりっぱなかえる
そう わかれのときがきたんだ
手のひらを近づけると
ぴよんとのって
ますますかなしみがおそってきた

作者が詩で表したかったのは、どんなことでしょう。そのためにどんな言葉を使っていますか。気づいたことを友だちと話し合ってみましょう。

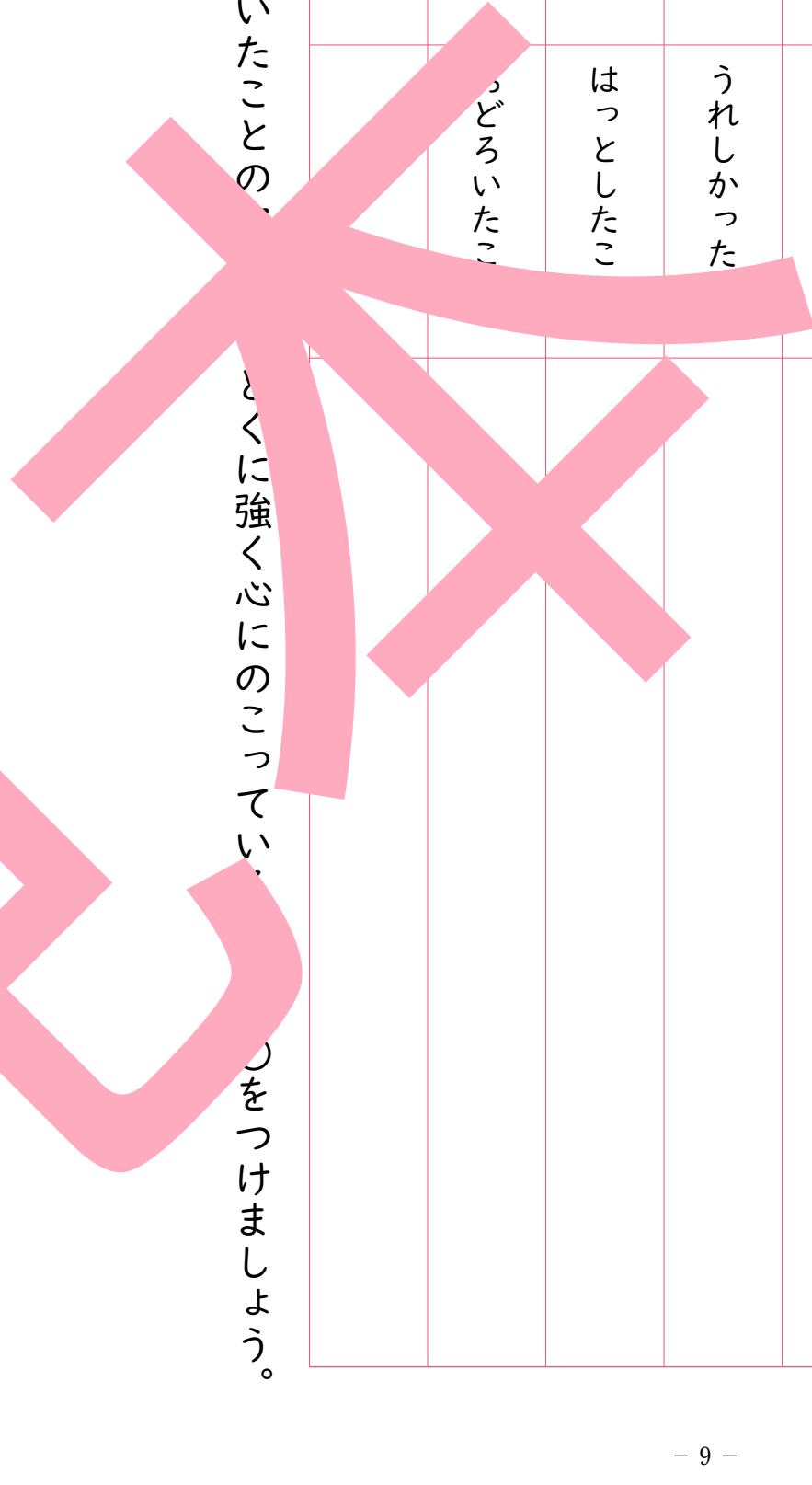
（『みかわの子』第62号）

二 書くことを決めて、言葉を集めよう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

	楽しかったこと	
	うれしかった	
	はっとしたこ	
	おどろいたこ	

書いたこと、おどろいたこと、はっとしたこと、楽しかったこと、うれしかったこと、を一つつけましょう。



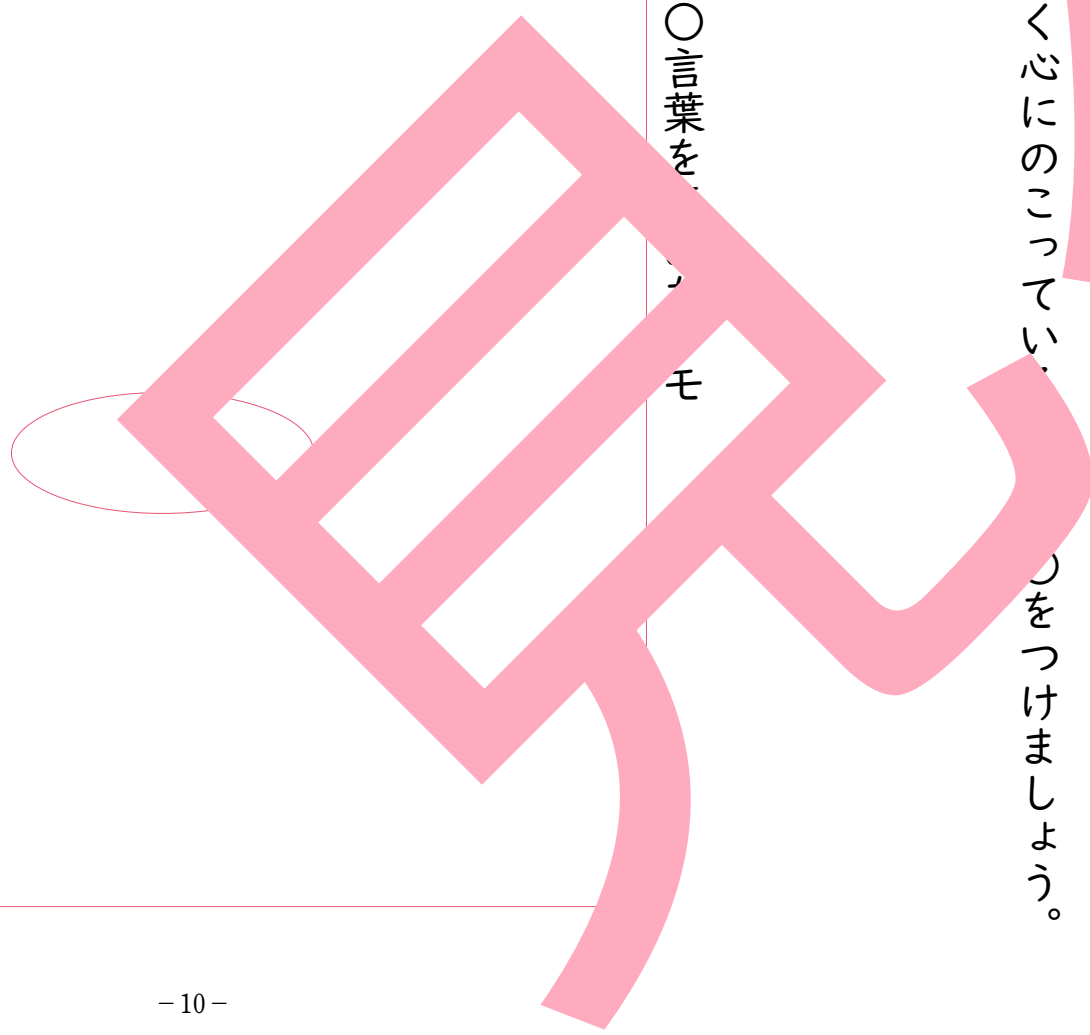
書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思ううかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

○書きたいこと

心の動きを表すために
言葉をえらびましょう。

- ・色や形
- ・動き
- ・音
- ・においやさわった感じ

○言葉を

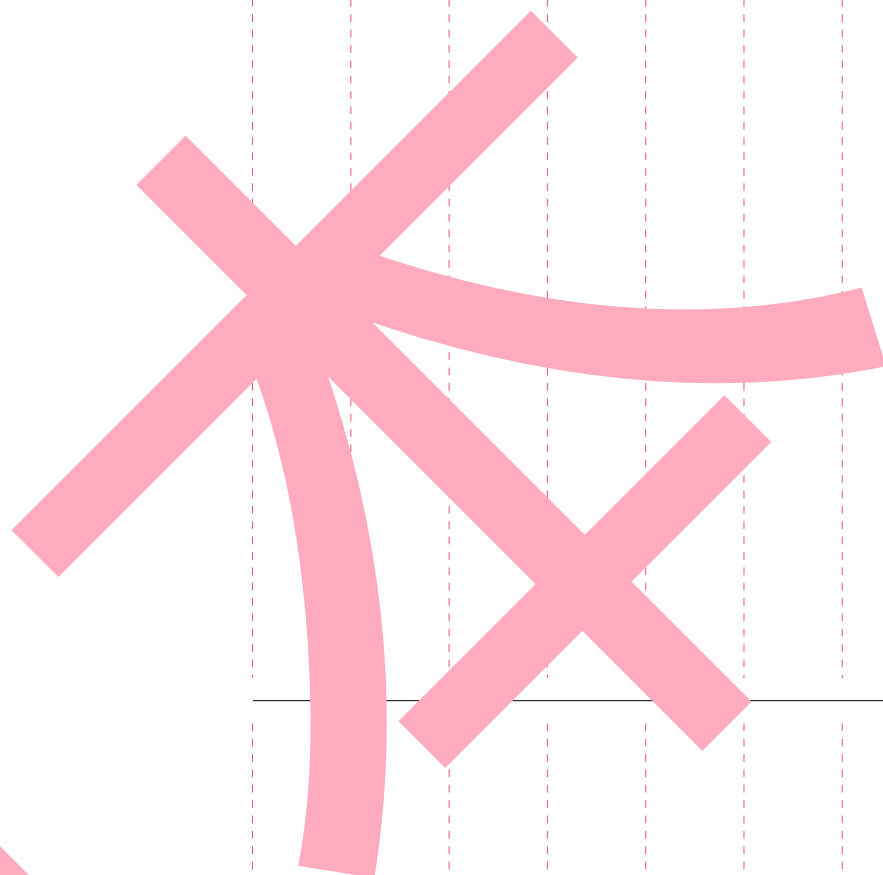


三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりの言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」



四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合
ましょう。

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

題名

友だちの
名前

よい
ったところ

よい
ったところ

ハ
イ

道具のひみつを つたえよう



知っていることに合った^{しら}ほうで調べ、
わかったことを整^{せい}理してレポートにまとめましょう

みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。

☆書くじゆんじよ

- ① 調べることを決める。
- ② 調べる方ほうを考える。
- ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
- ④ 調べて分かったことを整理する。
- ⑤ 調べたいことがはっきり分かるように組み立てを考える。
- ⑥ 調べたことを書く。
- ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

二 調べたい理由を^{ゆう}書こう。

調べるものをつたえたか、理由を書き加えよう。

○題（調べること）
・
○調べたいと思った理由
・

三 調べたことを整理しよう。

知りたいことに合った方ほうをえらんで、調べましょう。分かったことをメモに書いておきましょう。

調べて分かったこと
調べた本やウェブページ

調べた分かったこと
調べた本やウェブページ

◎調べる方ほうのれい

- ・かんさつする
調べたいものをよく見たり、さわったりして、分かったことを記録する。写真をとっておいでもよい。
- ・人に聞く
調べたいことについて、くわしく知っている人に聞く。聞きたいことを整理してから聞くとよい。
- ・本やしりょうで調べる
調べたいことについて書かれた本を、図書館などでさがして読む。
- ・インターネットで調べる
知りたいことを、けんさくワードに入力して調べる。

内よう	ポイント
題名	短い言葉で分かりやすく書きましょう。
1 調べた理由	「～ので調べてみました。～だから調べました。」とつなげる。～やすいで～
2 調べ方	かんさつする、人に聞く、本で調べるなど、自分が調べた方法をくわしく書きましょう。
3 調べて分かったこと 調べて分かったことには (1)(2)(3)と番号を付ける	・文章が～なく、図や～、表やグラフなど～てくふ～と、より～やすい～ります。 ・目、耳、～子などを～かんさつしたこと～字や～表すと、読む人により～ります。 ・人に聞いたことは～とうです。～ということです。」～言葉を～書きましょう。
4 調べた感想	自分で調べたことについて、～したことや考えたことを書きましょう。
調べるときに使った本	本の書名は「 」をつけて書き、出版～社名も書きましょう。

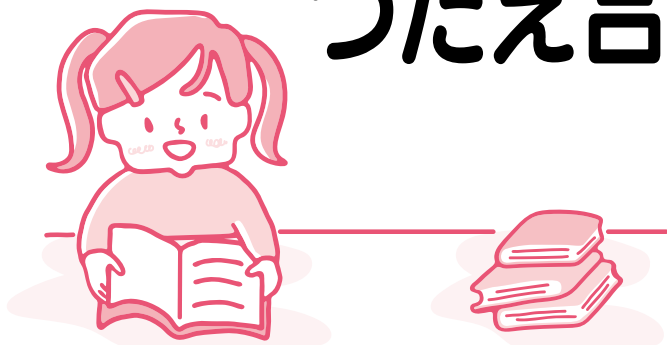
五 レポートを書こう。
五は後ろの37～38ページを使いましょう。

六 ^{かんそう}感想をつたえ合おう。
書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

はっ
本から発見したことを
つたえ合おう



○読書^{かんそう}感想文を書きましょう

- ☆
- ① 本の中から、自分にとって大切な本を見つけ、その本について、感想文を書く。
- ② 感じたことや思ったことをふせんに書くとき、
- ③ いちばん心にのこったところをえらび、何を中心に書くか決める。
- ④ 書くじゆんじよを考え、感じたことや思ったことを組み立てていく。

一 作品^{ひん}に学ぼう。

すてきさがしをしよう

西尾・寺津小

星野 笑加

- ① わたしがこの本を^{らん}だ理由は、題名を見てわたしも「すてき」の意味があるのかな、う言葉が^ういある日、^んぼを^いた^あし^お話です。まっていた^だこ^に持ち上げ^ててしまいましたが、「すてき」^は生まれてはじめて
- ② このお話は、森に^あい^もむ^お話です。ある日、^んぼを^いた^あし^お話です。まっていた^だこ^に持ち上げ^ててしまいましたが、「すてき」^は生まれてはじめて

始め

- ① 題名を見て考えたことや、本を読む前のふしぎに思った気持ちから書き出しています。
- ② かんたんなあらすじを書いています。本と自分の生活を重ねていきます。本に出てきた「すてき」という言葉が自分のように使われて

「すてき」と言われたいもむしは、その言葉の意味が気になって森に住むなかまに聞いて回りましたが、それぞれすてきだと^いうことがちがいました。わたしたちがふだん^に使^って^いる言葉の意味をあらためて考えてみると、よく分からずに使っていることがあります。自分がこうだと思っていることがほかの人からすると全くちがった意味だったりします。言葉って、とても深い^{ふか}んだなと思いました。でも、みんなが同じように感じます。「すてき」もあるとわたしは思います。それぞれのすてきを持っている動物たちも、みんなきれいな夕ぐれ空を見て「うわあ、すてき！」と声をあげました。わたしも、きれ



な色を見た時、見たことのないけ色を見た時、すてきだなと思います。それから、自分にはできないことができる友だちを見た時にもすてきだなと思います。

③ わたしは、一年生の時のマラソン大会で、スタートしてすぐにつまずいてころびました。でも、わたしは、最後までなきながら走りました。ゴールをしました。先生やお友だちに「がんばったね。とてもすてきだよ。」と言われました。わたしは、びっくりしました。たけれみんなの「すてき」の言葉が、心に残りました。うれしく、来年もがんばろうと思います。「すてきだね」

づける力があると思います。家ぞくから、「妹と分け合えるってすてきだね。」「お友だちにごめんねが言えたんだ。すてきだよ。」と言われて、うれしい気持ちになったことがあります。

④ わたしは、「すてき」という言葉が大すきです。この本を読んで、「すてき」という言葉の意味がすぐに見つからなくても、ずっとさがしていればいつか答えが見つかると思います。いろいろな「すてきさがし」ができたらいいなと思います。

⑤ わたしと思う「すてき」と、お友だちや家ぞくが思う「すてき」は、ちがうかもしれま

中

③ 作者は、いもむしに起^おこった出来事について、自分のかこの出来事と重ね、マラソン大会で「すてき」だと言われたことについて書いています。このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

④

「すてき」をキーワードに、自分がどのように感じたのかを書いていきます。本の中の言葉を使って考えを書いているところがよいですね。

せん。でも、すてきを言われたり、思われたりすることをいやだなと思う人はいないと思います。

⑥ 「す・て・き」という三文字の言葉の意味は「すばらしい」と同じだと思います。

すてきだと思える人に出会ったり、すてきだと思えるけいけん
だと思います。自分か
人にわたしはなりた
なと「すてき」をさ
まっ
ていてはだめだ
せ
る

（『十度『天空』読者アンケート』、シンクフル作品集）

ネッラ・カペラ「すてき」をさげな
なんだろう？
から出版

終わり

⑥ さい後に、「すてき」という言葉の意味を自分なりに考えてはつきりと書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわっていますね。

○読んだ本を記録しよう
読んだ本の記録をつけ
ましょう。
教科書上100ページから
105ページや下66ページを
さん考にして、本をさが
して読みましょう。



日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

二 感想をメモにまとめよう。

書名	作者
(1) この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2) あらすじや本のだいたいの内よう
(3) 心にのこった場面や言	(4) 自分が思ったこと、考えたこと

三 組み立てメモにしてみよう。

書き出した感想をもとにして、始め、

題名	始め
----	----

始め

◎読んだ本の名前

◎本をえらんだ理由

☆本のあらすじ

題名

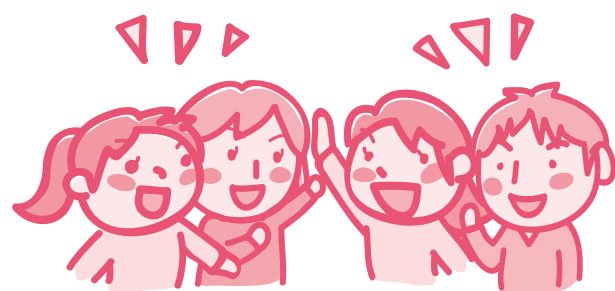
◎から学んだこと、言葉にす
後に考えると

◎心にのこったこと

ろ

・心にのこった文章
・心にのこった言葉

クラスの思い出作り のために



○考えの理由^{ゆう}を明らかにして書きまし

- ① 考えとその理由を明らかにする。
- ② 自分の考えを分かってもらうために
だいたいだと思う理由をえらんだり書
き足したりする。
- ③ 「始め」や「終わり」に自分の考え
を、「中」にその理由を書く。

四
組
み
立
て
メ

い
原
こ
う
用
紙
に
書
こ
う。

◎…大事な内よう
☆…あるとよい内よう

終
わ
り

中

終
わ
り

◎本を読んで学んだ
こと
☆どのように生かし
ていくのか

中

◎そう思った理由
・ 同じような体けん
から
・ 自分だったらと想
ぞう
など
※このまとまりは、
書きたいことに
合わせてふやし
たりけずったり
しましょう

一 自分の考えとその理由を書こう。

何をするか

それをえらんだ理由

クラスの思い出作りのために

The diagram illustrates a structure for organizing thoughts and reasons. It consists of a central point with three lines branching out to three vertical rectangles. Below each rectangle are two more vertical rectangles, connected by lines. A large pink 'X' is drawn over the entire diagram.

二 考えを深めよう。

自分の考えを分かってもらうために、理由をさらに詳しく書く。

クラスの思い出作りのために

The diagram illustrates a structure for organizing thoughts and reasons. It consists of a central point with three lines branching out to three vertical rectangles. Below each rectangle are two more vertical rectangles, connected by lines. A large pink 'X' is drawn over the entire diagram.

メモの書き方

- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

三 文章の組み立てを考えよう。

30 ページの自分の考えとその理由をどのようにじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中														始め
自分の考え	考えの理由														自分の考え
.							.							.	.

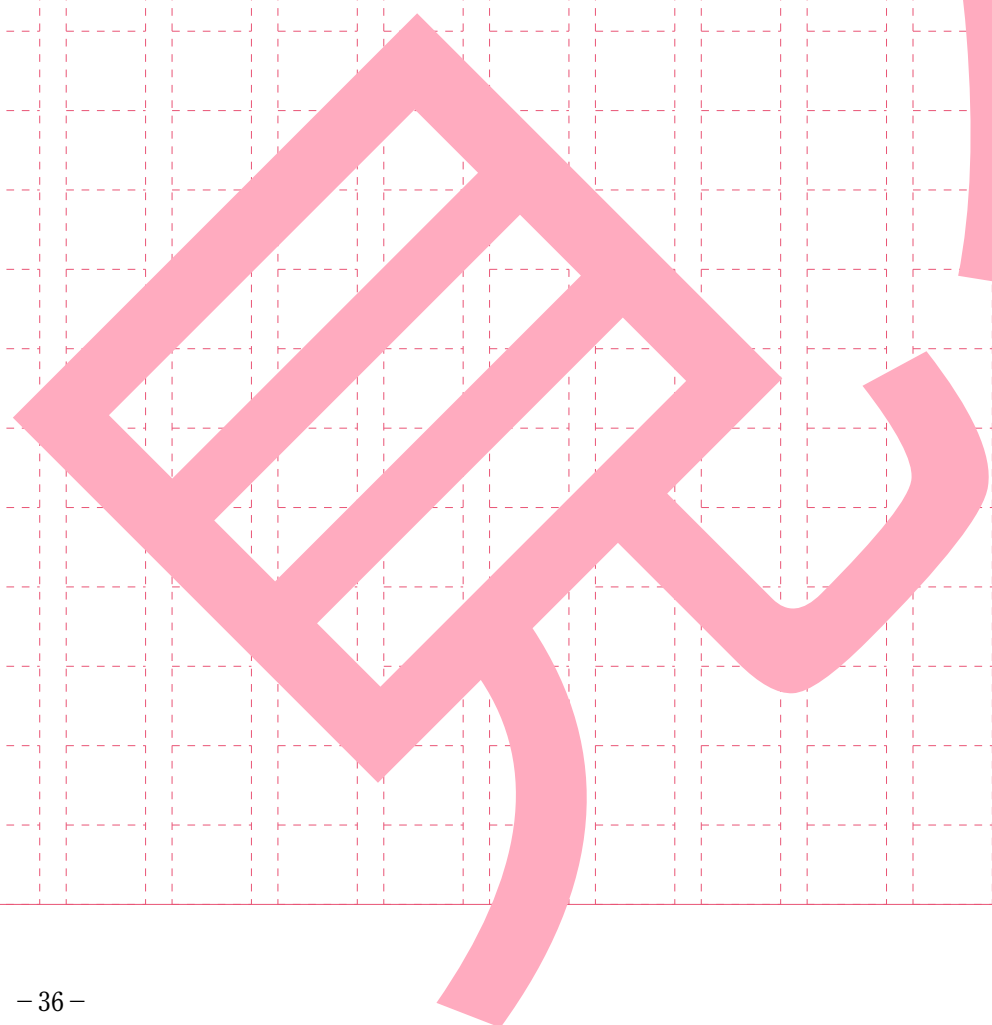
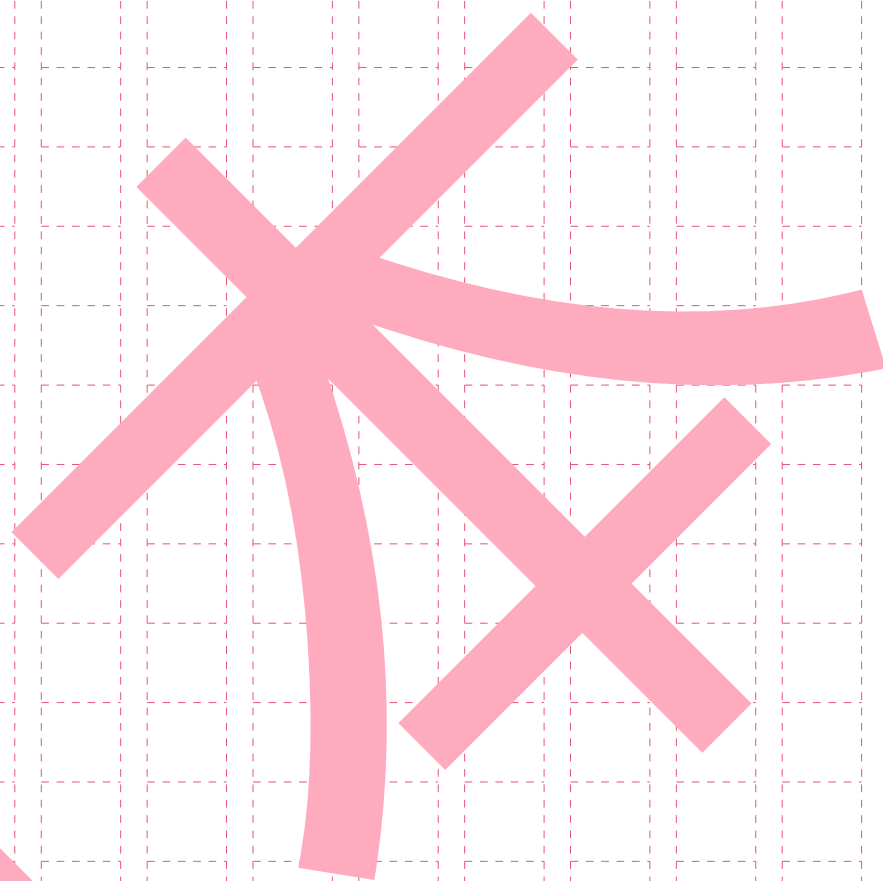
四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。名前（ ）



三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

わたしの顔

三 年 組



五 レポートを書こう。

教科書下23ページをさん考にして，レポートの組み立てをもとに，道具のひみつをレポートにまとめましょう。

名前（

）

題名	
1	調べた理由
2	調べ方
3	調べて分かったこと
4	調べた感想

○調べるときに使った本

令和
8
年度版

作文の友 3

～書くこと 大すき～



指導展開例あり



愛知教育文化振興会
三河教育研究会

3	年		組	名前	
---	---	--	---	----	--



原稿用紙の
正しい書き方

原稿用紙の使い方・書き直し方

題は二、三マスあける

三行目から

書き出しは一マスあける

ただし
「から書き出すとき
は一マスあけない

話しことは・会話は
行をかえる

話しことは・会話は
二行目は一マスあける

会話文の次の行から
新しく文が始まるときは
一マス下げる

話の内容が変わるときも
一マス下げる

書き直すときの記号
つけくわえる
書きかえる
とる
行をかえる

一マスあける

さいごの一マスあける

いちばん下の「、」「。」はマスの中に入れる

「と」は
同じマスに
書く

「。」

ず	と	小	さい	ころ	に	「。」一マス	す	ず	木	「。」一マスあける			
じ	の	ふ	も	と			お	兄	ちゃん	と	お	姉	ち
と、	お	ん	で	い	る	と、	「あ、	に	じ	だ」			
「に	い	ふ	し	た	ね。	ど	う	し	て	い	ろ	ん	な
あ	の	か	。	こ	から	出	て	る	の	か	な	「。」	色
お	ん	が	聞	こ	ま	し	た	が、	でも、	わ	か	り	ま
													せん
													く

先生と保護者の皆様へ

- 教科書との関連を図っています。
 - 児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - 参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和8年度版 作文 3年

編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会
刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819
印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

「わたし」の^{せつ}説明文 を書こう



○中心を明らかにして書きましょう

○目標
○関連

伝えたいことの中心を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに
上『わたし』の説明文を書こう

作文の友

～書くこと 大すき～

3



もくじ

〈教科書との関連〉

① 「わたし」の^{せつ}説明文を書こう …… 2

・ 中心を明らかにして書きましょう
上『わたし』の説明文を書こう

② 心が動いたことを詩で表そう…… 6

・ 心の動きが伝わるように、言葉を考えて詩
を書きましょう

上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」

③ 道具のひみつをつたえよう…… 13

・ 知りたいことに合った方ほうで調べ、分かっ
たことを整理してレポートにまとめましょう
下「道具のひみつをつたえよう」

④ 本から発見したことをつたえ合おう…… 18

・ 読書感想文を書きましょう

上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」

⑤ クラスの思い出作りのために…… 28

・ 考えの理由を明らかにして書きましょう
ラスの思い出作りのために

指導展開例あり

一 つたえたいことを書き出そう。

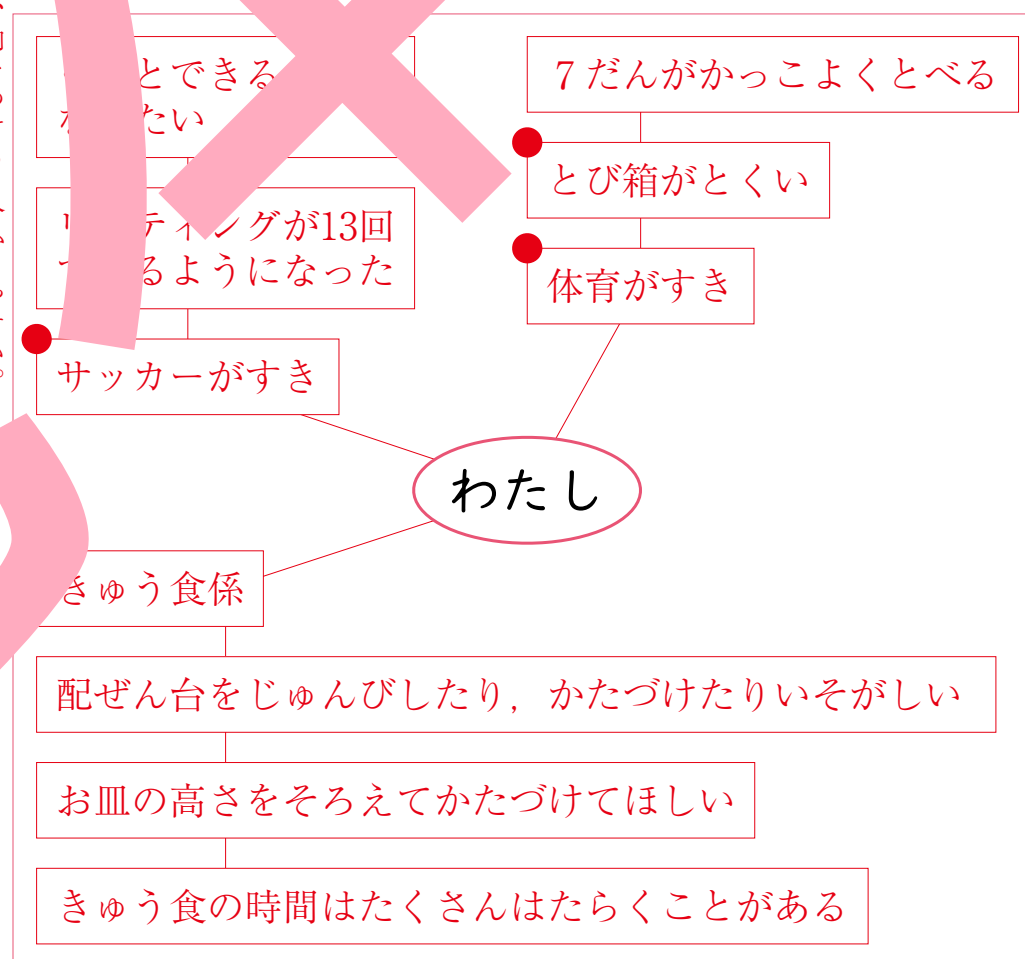
クラスの友だちに自分のことをもっと知ってもらうために、自分自身を見つめ直しましょう。

自分について考えたことを書き出しましょう。

- ① すきなことや、いいなこと。
- ② 苦手なことや、直したいと思っていること。
- ③ がんばっていることや、つづけていること。
- ④ ①、② つたわる出来事、つづけること。

※書き出した中から、

中心を決め、印をつけると分かりやすい。



二 つたえたいことの中心を決めて、文章の組み立てを考えよう。

書き出したことの中から、自分のどんなところを友だちに知ってほしいのか、つたえたいことの中心を決めましょう。

文章を「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中	始め
クラスへのよびかけ ・いっしょにサッカーをしたり楽しく運動をしたりしよう。	・運動場です。体育で一番とくいなものはとび箱。 ・二年生のとき、七だんとべた。	つたえたいこと ・体育がすき

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

三は後ろの35〜36ページを使いましょう。

四 書いた文章を友だちと読み合おう。

書いた文章を友だちと読み合い、おもしろいと思ったところや気づいたことなどをつたえ合いましょう。



友だちの名前
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

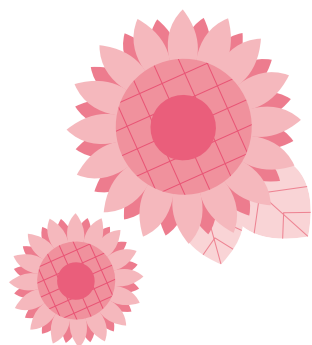
友だちの名前
おもしろいと思ったところ・気づいたところ

○目標
○関連

心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、上「心が動いたことを詩で表そう」「詩を読もう」

心が動いたことを 詩で表そう

○心の動きがつたわるように、
言葉を考えて詩を書きましょう



みかわの子 作品研究
2022年度版



技法

見なれ、るもの、聞き
てい、でも、見たり、耳
をす、て聞、りし、ると、
「つ」と、あります。
詩、心、く感じたことを短
い言葉で表したものです。
あなたの目、耳、鼻、口、手をよ
くはたらかせて、そのときの心の動
きを、どんな言葉で表したらよいか
考えてみましょう。

一 詩を読む。

ぼくのごまつぶ

刈谷・住吉小

花岡 圭悟

ごまつぶとの出会いは
つゆまったただ中の 用水路

ちよろちよろ ぐにや
小さい体で一生けん命動
近づきじいっと見てみる
小さなごまつぶから
ちよろんと出ていた 小
あ おたまじやくし！
ぴくぴくゆれて ひらひら
この小 があのか になる
小さなごまつぶ
いてもたっても
お父さんに相談した
「かってもいい？」

用水路の水草しかよろこんで食べないし
おまけに食べかすがいっぱい出るんだ
少しも目がはなせないけど
四ひきのせい長がうれしくって
たくさんたくさんかわいがった
ある日いちばん大きなどっすんぽこに
何やら黒いもの
小さな後ろ足だった
やっぱりこの子のかえるの子だったんだ
体には合わない小さな小さな黒い足
いつか上りくできるように
大きな石を用意した

二週間後

あっという間にごまつぶは
前足も生え しっぽもなくなり
もうだれが見たってりっぱなかえる
そう わかれのときがきたんだ
手のひらを近づけると
ぴよんとおつて
ますますかなしみがおそってきた

※詩の場合、文の終わりに句点（。）を打たなくてもよい。

考えこお父さん
どきどき どきどき
返事をじっと待つ
「かえるになったらしぜんに返すと
やくそくできる？」
「うん！ ぜったいやくそくする。」
今日のお父さんは太っぱらだ

いそいで地面にはいつくばって
ひっしに手をのばし
持ってきたコップを水路にしずめた
やった！ 四ひき入ったぞ
「これからぼくがお父さんだぞ。」
四つのいのちをそうとだいた
ごまつぶたちのお世話はいへん
水だと
生まれこきよ

このま
んの中
に言い聞
ながら
あの水路へゆ
向かって
このま
にいて
いのに
おま
たい手
ごを開
そうに
つづは
と水へ
これ
これ
すつき
気持ち
ひかけた
おうい！
ま
この場所
で会おうな！

（『みかわの子』第62号）

作者が詩で表したかったのは、どんなことでしょう。そのためにどんな言葉を使っていますか。気づいたことを友だちと話し合ってみましょう。

二 書くことを決めて、言葉を集めよう。

学校や家での生活をふり返り、詩に書きたいことをさがしましょう。楽しかったことやうれしかったこと、はっとしたり、おどろいたりしたことなどを書きましょう。

	楽しかったこと	妹がしいてくれた羽毛ぶとんで、いっしょにねたこと。
	うれしかった	クリスマスプレゼントに自転車をもらったこと。
	はっとしたこ	キリンの場をを見たこと。
	おどろいたこ	水族館で、うなぎがふわふわとういていたこと。
○	ふし	ミミはなぜ朝と夕方に鳴いているのだろうと思ったこと。

書いたことの、よくよく読んで、強く心にのこっているものを見つけましょう。

※教科書(上) P 78・79 「言葉相だん室 人物やものの様子を表す言葉」を参考にするとよい。

書きたいことが決まったら、言葉を連想して、線でつないでいきましょう。ちがう言葉に言いかえたり、新しく思ううかんだ言葉を使ったりしてもよいですね。

○書きたいこと

なぜ鳴くの ※教科書(上) P 81

心の動きを表すために
言葉をえらびましょう。

- ・ 色や形
- ・ 動き
- ・ 音
- ・ においやさわった感じ

○言葉を



※教科書(上) P 154・155 「言葉の広場」を見ながら、言葉集めさせるとよい。

三 詩を書こう。

思いうかぶ言葉の中から、つたえたいことにぴったりの言葉をえらんで詩を書きましょう。

題名「

」

※教科書(上)P 83 「詩もたしかなる書き方のれい」を参考に、工夫を考えさせるとよい。

四 書いた詩を友だちと読み合おう。

友だちと書いた詩を交かんして読み合
ましょう。

題名

友だちの
名前

よいと思ったところ

題名

友だちの
名前

よい
ったところ

○目標 知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。

○関連 「下」「道具のひみつをつたえよう」

道具のひみつをつたえよう



知っていることに合った調べ方で調べ、
知ったことを整えてレポートにまとめましょう

みなさんは、身の回りのくらしの中で、ふしぎだなと思ったことや、もっとくわしく知りたいなと思ったことはありませんか。知りたいと思ったことを調べて、レポートにまとめてみましょう。

☆書くじゅんじょ

- ① 調べることを決める。
- ② 調べる方ほうを考える。
- ③ 自分の考えた方ほうで調べてメモに書く。
- ④ 調べて分かったことを整理する。
- ⑤ 調べたいことがはっきり分かるように組み立てる。
- ⑥ 調べたことを考える。
- ⑦ せい書をする。



一 調べることを決めよう。

身の回りの道具から、調べたいものをえらびましょう。身の回りの道具を書き出し、調べるものを一つ決めて、○をつけましょう。

えん筆	けしゴム	はさみ			
-----	------	-----	--	--	--

※学級での自由な発表の後、集まったものから選ばせてもよい。

二 調べたい理由をしよう。

調べるものをつたか理由を書きよう。

○題（調べること）
・ えん筆のひみつ
○調べたいと思った理由
・ えん筆がなければ、文字がかか。
・ いつ、どのように発明されたかを知りたい。

五 レポートを書こう。

五は後ろの37〜38ページを使いましょう。

六 感想をつたえ合おう。

書いたレポートを読み合い、よいと思ったところや、自分のレポートにも生かせそうだと
思ったところをつたえ合いましょう。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

※内容だけでなく、組や書いでも着目させるとよい。

友だちの 名前	題名	よいと思った ところ	自分のレポートにも 生かせそうだと 思ったところ

○目標

すぐれた作品を読み味わうとともに、残った本を選び、感動したところや、読んでも考えたこと

○関連

上「三年生の本だな」下「本から発見したことをつたえ合おう」

はっ
本から発見したことを
つたえ合おう



かんそう
○読書感想文を書きましょう

- ☆ ① 本から発見したことをつたえ合おう
- ② 感じたことや思ったことをふせんに書くときよい。
- ③ いちばん心にのこったところをえらび、何を中心に書くか決める。
 - ・ 心にのこった理由を書くときよい。
- ④ 書くじゆんじよを考え、感じたことや思ったことを組み立てていく。

一 作品^{ひん}に学ぼう。

すてきさがしをしよう

西尾・寺津小

星野
笑加

読む前の気持ち

あらすじ

あらすじ

① わたしがこの本を
見てわたしも「すて
き」
う意味があるのかな
② このお話は、森に
ある日、おぼろげに
まっていた。おぼろ
しまいました。
さんね」と言わ
らんだ理由は、題名を
う言葉が、うい
お話です。
つか

始め

① 題名を見て考えたことや、本を読む前のふしぎに思った気持ちから書き出しています。かんたんなあらすじを書いています。本と自分の生活を重ねています。本に出てきた「すてき」という言葉が自分

「すてき」と言われたいもむしは、その言葉の意味が気になって森に住むなかまに聞いて回りましたが、それぞれすてきだと感じたことがちがいました。わたしたちがふだんなく使っている言葉の意味をあらためて考えてみると、よく分からずに使っていることがあります。自分がこうだと思っていることがほかの人からすると全くちがった意味だったりします。言葉って、とても深いんだなと思いました。でも、みんなが同じように感じています。「すてき」もあるとわたしは思います。それぞれのすてきを持っている動物たちも、みなきれいな夕ぐれ空を見て「うわあ、す・て・き！」と声をあげました。わたしも、きれい

ています。



※本から引用するときは、「」で抜き出すようにする。

※本の中と自分の生活の似ているところを比べて自分の思いを書く。

な色を見た時、見たことのないけ色を見た時、すてきだなと思います。それから、自分にはできないことができる友だちを見た時にもすてきだなと思います。

③ わたしは、一年生の時のマラソン大会で、スタートしてすぐにつまずいてころびました。でも、わたしは、最後までなきながら走りました。ゴールをしました。がんばったね。と言われました。わたしは、みんなの「き」をうけた。うれしく、来年もがんばろう。すてきだね。

中

③ 作者は、いもむしに起こつた出来事について、自分のかこの出来事と重ね、マラソン大会で「すてき」だと言われたことについて書いています。このように、自分の生活と本の中での出来事をくらべたり、にた出来事を書いたりすると、より自分の思ったことや考えたことをつたえることができます。

– 21 –

「妹と分け合えるってすてきだね。」

「お友だちにごめんねが言えたんだ、すてきだよ。」

と言われて、うれしい気持ちになったことがありました。

④ わたしは、「すてき」という言葉が大すきです。この本を読んで、「すてき」という言葉の意味がすぐに見つからなくても、ずっとさがしていればいつか答えが見つかると思います。いろいろな「すてきさがし」ができたらいいなと思います。

⑤ わたしが思う「すてき」と、お友だちや家
 ぞくが思う「すてき」は、ちがうかもしれま

「すてき」をキーワードに、
自分がどのように感じたのか
を書いていきます。本の中の言
葉を使って考えを書いてい
るところがよいですね。

せん。でも、すてきを言われたり、思われたりすることをいやだなと思う人はいないと思います。

⑥ 「す・て・き」という三文字の言葉の意味は「すばらしい」と同じだと思います。

すてきだと思える人に出会ったり、すてきだと思えるけいけん
だと思います。自分か
人にわたしはなりた
なと「すてき」をさ
まっ
ていてはだめだ
せ
る

（『十度『天空 読書』（シンクフル作品集）

ネツラ・カペ
「すて
なんだらう？
から出版

終わり

⑥ さい後に、「すてき」という言葉の意味を自分なりに考えてはつきりと書いています。自分にどんなことができるのか、これからどうしたいのかを書くことで、本を読んで強く思ったことや考えたことがよくつたわっていますね。

○読んだ本を記録しよう
読んだ本の記録をつけ
ましょう。
教科書上100ページから
105ページや下66ページを
さん考にして、本をさが
して読みましょう。



日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

日づけ	月	日
書名		
作者		
一言感想		

二 感想をメモにまとめよう。

書名	作者
(1) この本をえらんだわけ、この本と出会ったときのこと	(2) あらすじや本のだいたいの内よう
・感動した場面を中心に書かせるようにしたい。	
(3) 心にのこった場面や言	(4) 自分が思ったこと、考えたこと
・心にのこった理由を書き、あとよく	

三 組み立てメモにしてみよう。

題名	始め
	・感想文の書き方としては、主人公への手紙の形式や、感動した場面にしほっての感想、自分の生活と対比した感想などいろいろある。

始め

◎読んだ本の名前

◎本をえらんだ理由

☆本のあらすじ

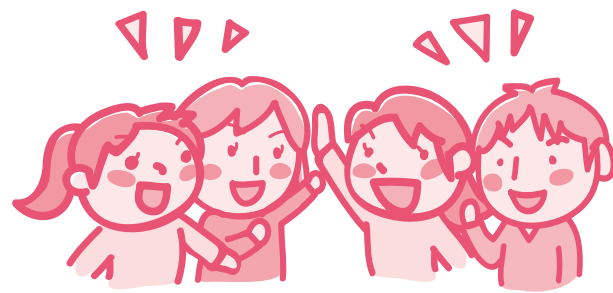
題名

◎から学んだこと、言葉にす
後に考えると

◎心にのこったところ

・心にのこった文章
・心にのこった言葉
(心に残ったところは、引用して書いてもよい。要約して書くともよい。)

クラスの思い出作り のために



○考えの理由^{ゆう}を明らかにして書きまし

- ① 考えとその理由を明らかにする。
- ② 自分の考えを分かってもらうために
だいじだと思いう理由をえらんだり書
き足したりする。
- ③ 「始め」や「終わり」に自分の考え
を、「中」にその理由を書く。

考へ、その理を明らかにし、文
を書くときには、その上、ところ
とつけて、きましまし

○ 目標
○ 関連

考えの理由を明らかにして、「始め・下」「クラスの思い出作りのために」

「中 終わり」のまとまりに分け

四 組み立てメ
い 原こう用紙に書こう。

[illegible]

終わり

◎本を読んで学んだこと

←

☆どのように生かしていくのか

◎：大事な内よう

☆…あるとよい内よう

中

- ◎ そう思った理由
- ・ 同じような体けんから
- ・ 自分だったらと想
ぞう

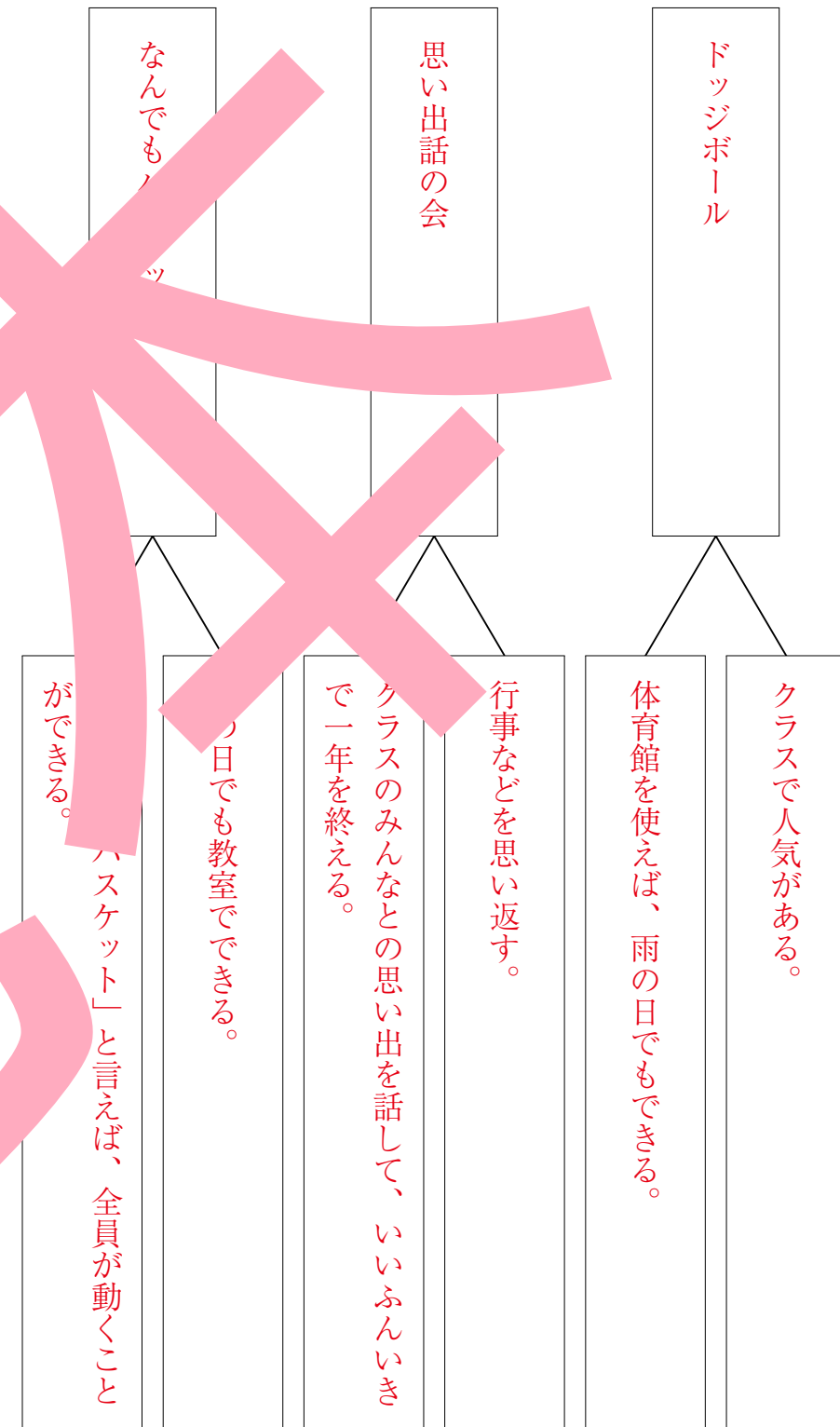
※このまともりは、
書きたいことに
合わせてふやし
たりけずったり
しましよう

一 自分の考えとその理由を書こう。

何をするか

それをえらんだ理由

クラスの思い出作りのために



二 考えを深めよう。

自分の考えを分かってもらうために、理由をさらに詳しく書く。

クラスの思い出作りのために

考え ○ クラスの思い出作りのために、ドッジボールをするのがよい。	
理由①	理由②
クラスで人気のある遊び。	クラス全体がもっとなかよくなれる。
理由③	理由④
理由⑤	理由⑥

メモの書き方

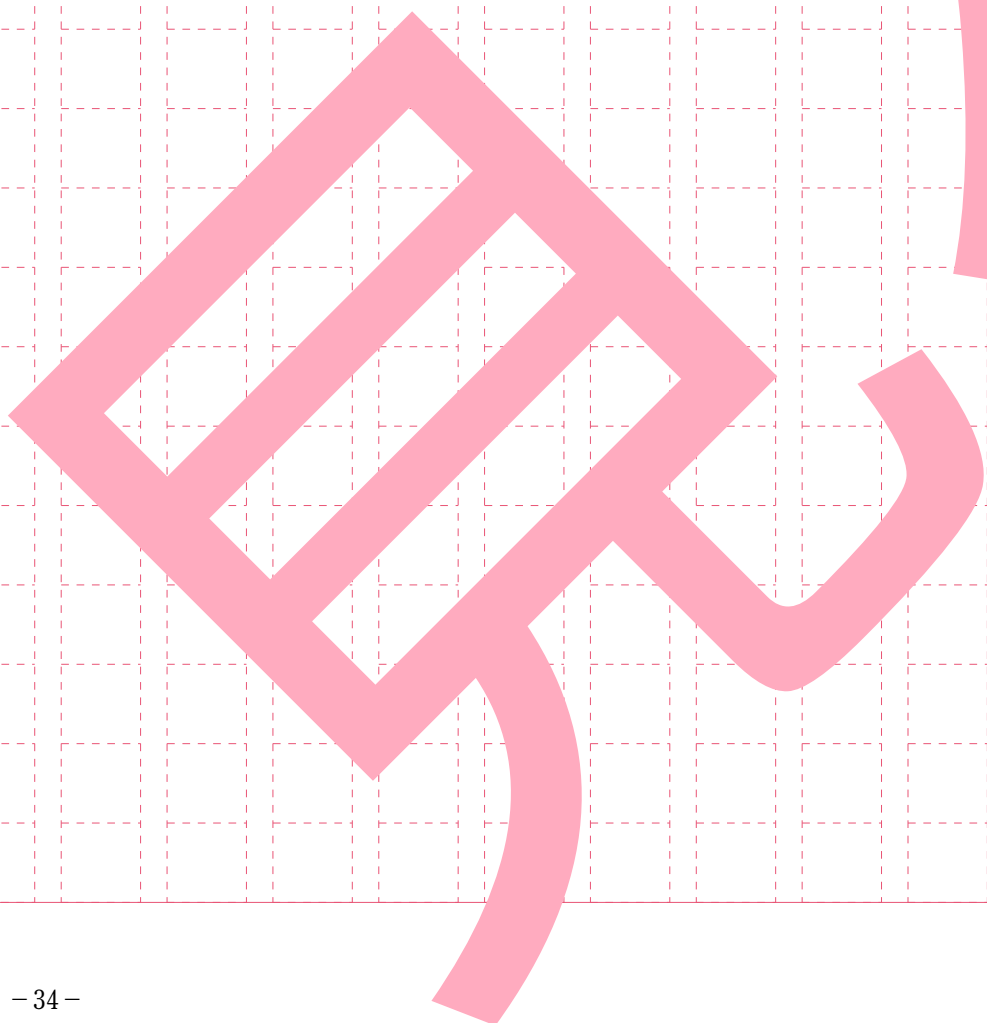
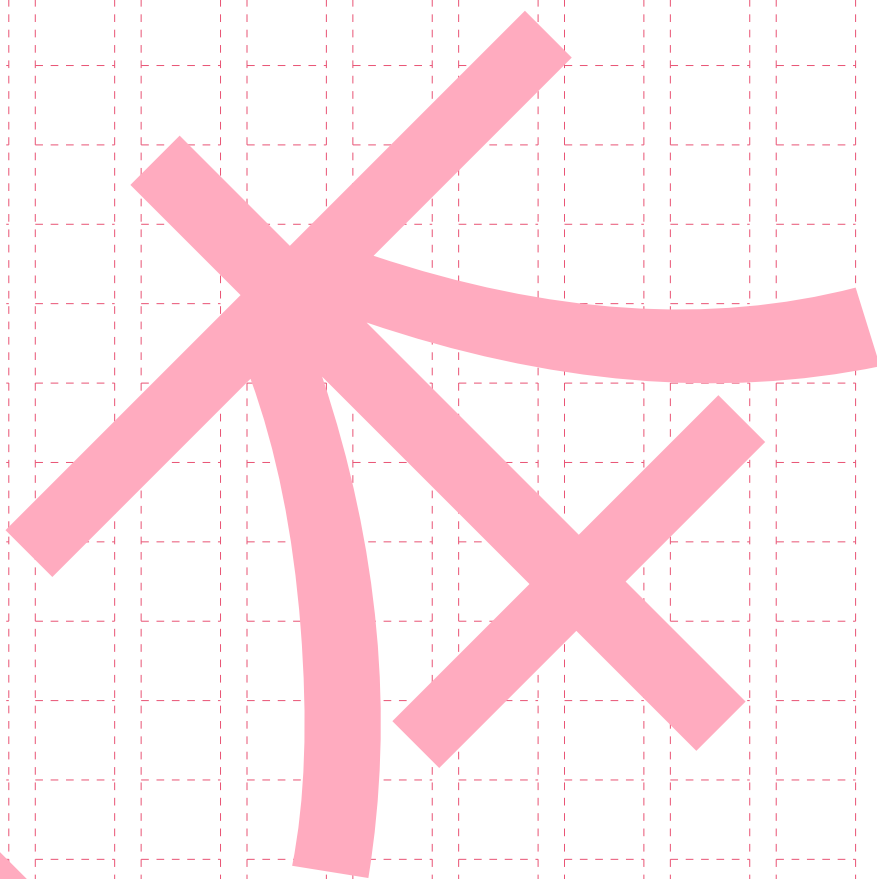
- ①自分の考えとその理由を2つ書き出す。
- ②それぞれの考えの理由をさらにくわしく下の四角に書く。
- ③自分の考えを分かってもらうために、大事だと思う理由をえらんだり書き足したりする。

30ページの自分の考えとその理由をどのようににじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

30ページの自分の考えとその理由をどのようににじゅんじょ立てて書くか、自分の考えが読み手につたわるか考えて、組み立てメモを作りましょう。

終わり	中		始め
自分の考え	考えの理由		自分の考え
全員でドッジボールをするのがよい。	クラス全体が、もつとなかよくなれる	クラスの中 気がある遊びだから。	クラスの思い出作りはドッジボールをするのがよい。

四 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。名前（ ）

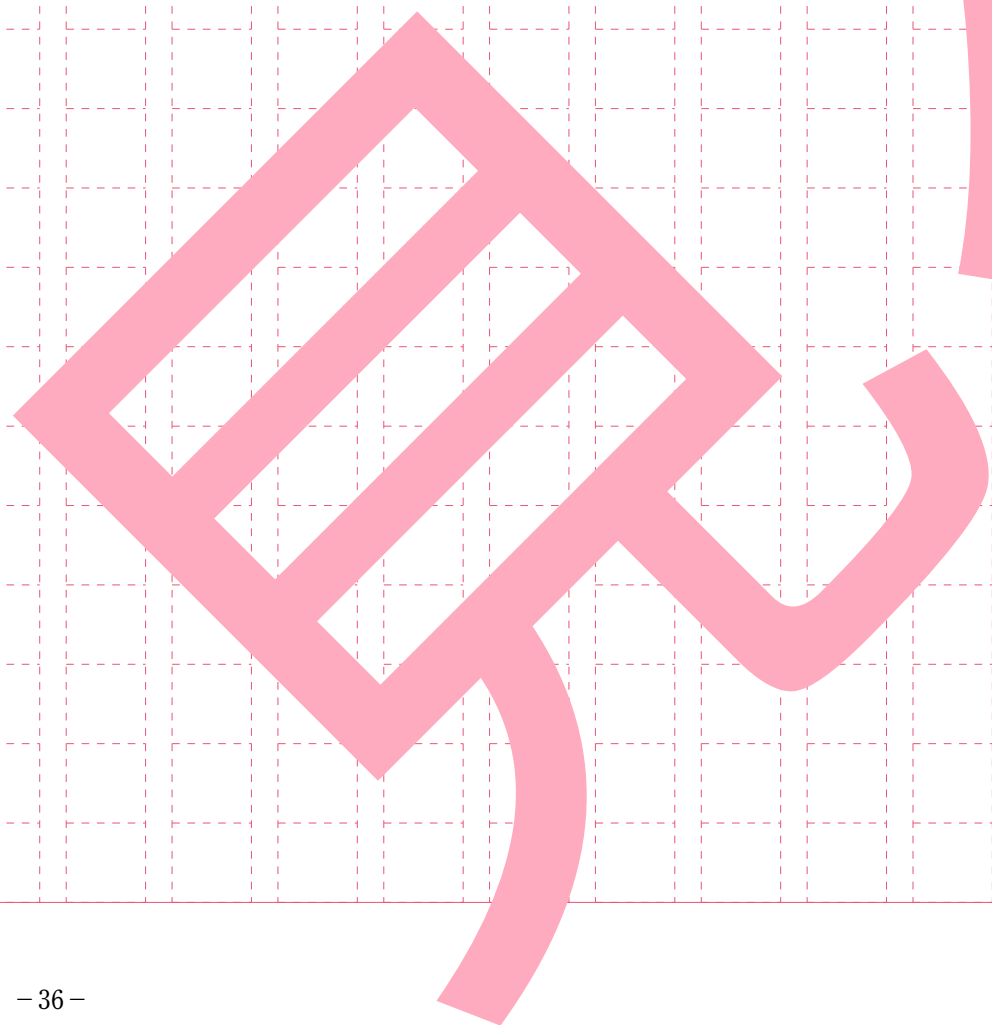
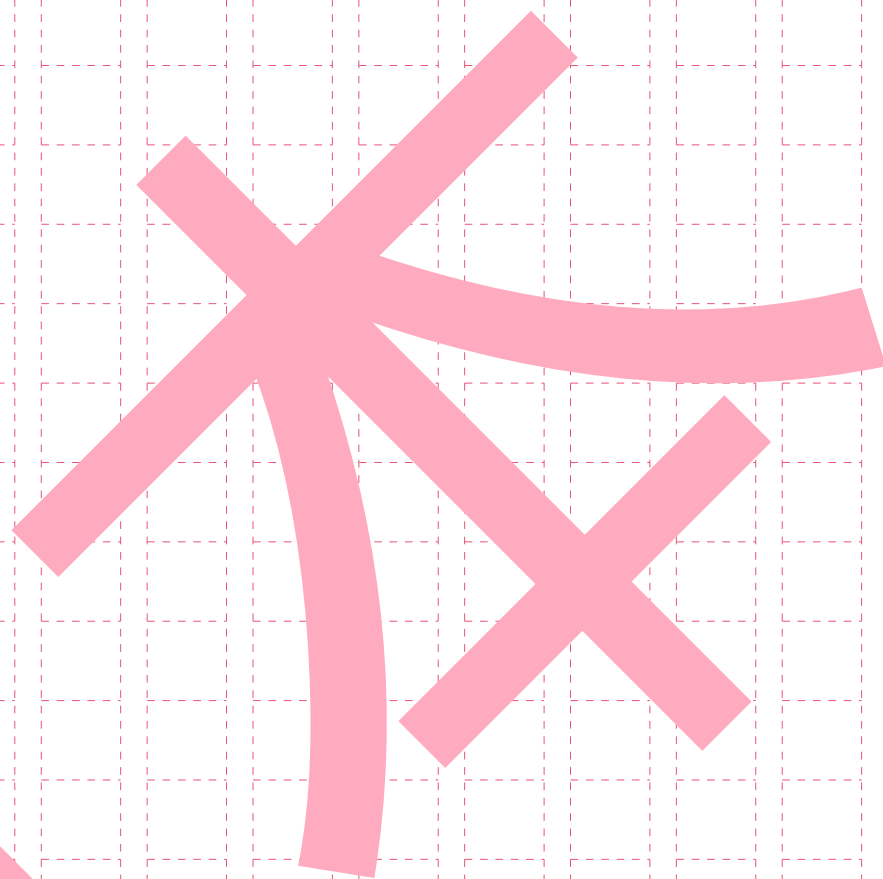


※段落を意識しながら、書くように指導する。
※教科書（下）P 98の「理由を表すときに使う言葉」を使い、考えや理由を分かりやすく書くようにさせる。

三 組み立てメモをもとにして、文章を書こう。

わたしの顔

三 年 組



※段落を意識しながら、書くように指導する。

「わたし」の説明文を書こう

——中心を明らかにして書きましよう——

《教科書との関連》

上「わたし」の説明文を書こう」

二 指導事項

- 1 相手に分かりやすく伝えるために、中心を明らかにして説明文を書くという学習課題を確かめ、自分について考えたことを書き出させる。
- 2 自分のどこを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を決めて、組み立てメモを書かせる。
- 3 下書きを書かせ推敲し、清書させる。

三 展開例

学習の流れ	習内容・活動	指導上の留意点
① 「伝えたいことの中心を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	① 自分のことを友だちに知ってほしいのか、伝えたいことの中心を明らかにして「わたし」の説明文を書く。	① 教科書の例を読み、出来上りのイメージをもち、どのように学習を進めていくと、「わたし」の説明文を書くことができるか考えさせる。
② 伝えたいことを書き出す。	② 自分自身を見つめ、伝えたいことを書き出す。	② 好きなことや得意なこと、苦手なことや直したいと思っていることなどを想起させる。
③ 中心を決めて、文章の組み立てを考える。	③ ①の書き出したことの中心を決める。 ②の文章を「始め・つづ・おしまい」のまとまりに分けて、中心を伝えるように書き直す。	③ 伝えたいことの中心を選び、それに関連の深い出来事も書き出したことから選ばせる。
④ 文章を書く。	④ ①の中心を明確にし、②の文章を「始め・つづ・おしまい」のまとまりに分けて、中心を伝えるように書き直す。	④ 表紙裏の「原稿用紙の使い方・書き直し方」を見て、下書きを推敲させる。
⑤ 文章を読み合う。	⑤ ④の文章を読み合い、互いの良さを認め、伝え合わせる。	⑤ 友だちと「説明文」を読み合い、互いの良さを認め、伝え合わせる。
⑥ 学習を振り返る。	⑥ ⑤の文章を読み合い、互いの良さを認め、伝え合わせる。	⑥ 教室掲示、文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。

心が動いたことを詩で表そう

——心の動きがつたわるように、言葉を考えて詩を書きましよう——

一 学習目標

- 1 心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。

二 指導事項

- 1 心が動いたときのことから想像を広げ、言葉を集めたり選んだりして、詩を書くことができる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 作品「ぼくのごまつぶ」を学習する。	① 参考作品「ぼくのごまつぶ」を読み味わう。 ・作者が表したかったことを考える。 ・どんな言葉を使っているかを話し合う。	① 参考作品の良い点を挙げさせる。 ② 心の動きを伝えるために効果的な言葉を選び、表現する楽しさを知る。
② 感じたことや発見したことを書き、詩の題材を考える。	② ①の生活をふり返って題材を集め、特に強く心に残っているものを考える。 (2) 色や形、動き、音、においやさわった感じなど、そのときの様子をくわしく思い出させる。	② 心が動いたことなどを想起させる。
③ 詩を書く。	③ 伝えたいことを短い言葉で詩に書く。	③ 感じたことにふさわしい言葉を考えて、短い言葉で書かせる。
④ 詩を味わう。	④ 友達の詩を読み合い、よいと思ったところを伝え合う。 ・心の動きがよくわかる言葉はどこかを考える。	④ 友達の詩を読み、お互いに認め合う気持ちをもたせる。

道具のひみつをつたえよう

—知りたいことに合った方ほうで調べ、分かったことを整理してレポートにまとめよう—

《教科書との関連》

下「道具のひみつをつたえよう」

一 学習目標

- 1 知りたいことに応じた調べ方を考えて調べ、書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えることができる。

二 指導事項

- 1 興味のあることを調べて、レポートにまとめるという学習課題を確かめ、調べることを決めさせる。
- 2 本やインターネットで調べたり、インタビューしたりして、必要な材料を集めさせる。
- 3 調べた事柄の中から必要に応じて情報を取捨選択し、要旨を明確にしてレポートに書かせる。

三 展開例

学習の流れ	内容・活動	指導上の留意点
① 知りたいことを調べてレポートにまとめるという学習課題を確かめ、学習計画を立てる。	①(1) 自分が知っていることを思い出し、調べたいことを通しを立てる。 (2) 学習計画を立てる。 ・自分が調べたいこと、身の回りのこと、興味のあること、疑問をメモする。 ・調べたいことを「調べる計画」にまとめるという学習課題を明確にする。	① 本単元では、自分の興味や関心のある道具について調べ、紹介することを知らせる。 ワークシートを利用した学習計画表を作成するのよい。

② 調べ学習をする。	② 調べて分かったことをメモに書き込む。	② 調べたことをメモに書き込む。 (本の目次やインターネットなどを利用して調べたことを確認する。)
③ 構想を練る。	③ 集めた資料から紹介したい部分を選び、組み立てる。 ・テーマや動機、調べた方法 ・分かったこと ・調べた感想 ・調べるときに使った本	③ 調べたことがたくさんあるか、どの内容を入れるか、どの順序で書くかを意識させる。
④ 調べたことをもとにレポートを書く。	④ レポートを書く。 ・レイアウト、見出し、絵や写真の添付	④ 文の順序を表す言葉を意識させる。 調べたことに応じて、絵や写真を添付させるとよい。
⑤ 感想を伝え合う。	⑤ 作品をお互いに読み合い、感想を書いて伝え合う。	⑤ 〇よいと思ったところや、見習いたいところを書かせる。
⑥ 学習を振り返る。	⑥ 学習の振り返りをする。	〇内容だけでなく、組み立てや表記にも着目させる。

本から発見したことをつたえ合おう

―読書感想文を書きましよう―

《教科書との関連》
上「三年生の本だな」
下「本から発見したことをつたえ合おう」

一 学習目標

1 すぐれた作品を読み味わうとともに、心に残った本を選び、感動したところや、読んで思ったり、考えたりしたことを整理し、文章で表現することができる。

二 指導事項

- 1 参考作品「すてきさがしをしよう」を読ませ、書き出しの工夫、感想や考えがどのように書かれているか考えさせる。
- 2 自分が読んだ本の中から心に残った本を選び、心に残ったところや、自分の感じたこと、考えたことなどをまとめさせる。
- 3 まとめたことや書き方のヒントを生かして、感想文に表現させる。

三 展開例

学習の流れ	内容・活動	指導上の留意点
① 作品「すてきさがしをしよう」を読み、学習計画を	①(1) 参考作品「すてきさがしをしよう」の工夫について話し合う。 (2) 作品の組 ・ 始め ・ 中 ・ 終わり 感想を話し合う。 (設問一)	① 参考作品を読むことによって、感想文を書こうとする意欲づけをする。 ○ 書き出しのよさについて気づかせる。 ○ 作者の心の動きが、会話を入れたり、自分の過去のことを思い返して書いたりすることによって、読む人によく伝わってくることに気づかせる。

② 心に残った本を選び、どんな書き表し方をするか構想を練る。	②(1) 心に残った本を選ぶ。 (2) 心に残ったところや、自分の思いをまとめる。 (3) 組み立てメモの下の例を参考に、感想文の書き出しの工夫しながら、記述をする。 (設問二)	② 心に残った本をあらかじめ、目を通しておく。 ○ P 24 の「心に残った本」を話し合う。 ○ 心に残った本を自由にまとめ、書き出しの工夫をすることによって、始め、中、終わりの内容をまとめる。 (設問三)
③ 記述をする。	③ 書き出しのポイントを工夫しながら、記述をする。	③ 書き出しの工夫を話し合う。 ○ 書き出しの工夫を話し合う。 ○ 書き出しの工夫を話し合う。
④ 書いたものを推敲する。	④ 自分の感想文の推敲をする。	④ 書いたものを推敲する。 ○ 書いたものを推敲する。 ○ 書いたものを推敲する。
⑤ 清書をする。	⑤ 誤字・脱字に気をつけて清書をする。	⑤ 誤字・脱字に気をつけて清書させる。 ○ 誤字・脱字に気をつけて清書させる。
⑥ 友達の作品を読み合う。	⑥ 友達の作品を通して、さまざまな感じ方・考え方を学び合う。	⑥ 友達の感想文を読み、お互いに認め合う気持ちをもたせたい。 ○ 文集を作る、回し読みをするなどして、全員に読む機会を与えるように配慮する。
⑦ 学習を振り返る。	⑦ 学習の振り返りをする。	

クラスの思い出作りのために

— 考えの理由を明らかにして書きましょう —

《教科書との関連》

下「クラスの思い出作りのために」

一 学習目標

- 1 考えの理由を明らかにして、「始め・中・終わり」のまとまりに分けて、書くことができる。

二 指導事項

- 1 自分の考えを伝えるために、考えの理由を明らかにして書くという学習課題を確かめ、自分の考えと理由を書き出させる。
- 2 順序立てて文章の組み立てを書かせる。
- 3 組み立てをもとに、自分の考えとその理由を、順序立てて書かせる。

三 展開例

学習の流れ	内容・活動	指導上の留意点
① 「考えの理由を明らかにして書く」という学習課題を確かめ、学習の立てる。	① クラスの思いを伝えて書くという学習課題を確かめるために、自分の考えを伝えて、文章の組み立てを考えたうえで、文章の組み立てを伝えて書くという学習課題を確かめる。	①○本単元では、自分の考えを読み手に分かりやすく伝えるために、考えの理由を明らかにして書くことができるようにするという学習課題を確認する。 ○どのように学習を進めていくと学習課題を達成することができるか、学習の見通しを持たせる。 ○教科書下P 99の「言葉の力」をおさえ、本単元でできるようにしたいことを確認する。
② 自分の考えをまとめる。	② 自分の	(設問一)

③ 考えを深める。	③ (1) 考えたことについて、ペアやグループで話し合う。 (2) 話し合って気付いたことも取り入れながら、自分の考えを深める。	(設問二)
④ 文章の組み立てを考える。	④ 考えとその理由を順序立てて、文章の組み立てを考える。	(設問三)
⑤ 文章を書く。	⑤ (1) 組み立てを元に文章を書く。 (2) 推敲する。	(設問四)
⑥ 文章を読み合う。	⑥ 文章を読み合い、考えや理由が分かりやすく書けているところなどを伝え合う。	教科書下P 99の「言葉の力」を確認し、友達の書いた文章を評価する視点を確認させる。
⑦ 学習を振り返る。	⑦ 学習の振り返りをする。	⑦ 本単元を通して、身に付けることができる言葉の力は、どのような学習をしたら身に付くかを考えさせ、振り返りをさせる。ここで身に付いた力を生かすことができる場面を考えさせることもよい。